



沖縄地区税関 管内貿易概況(速報)

令和5年10月分

(増減・伸率は対前年同月比)

●今月のポイント

●輸出

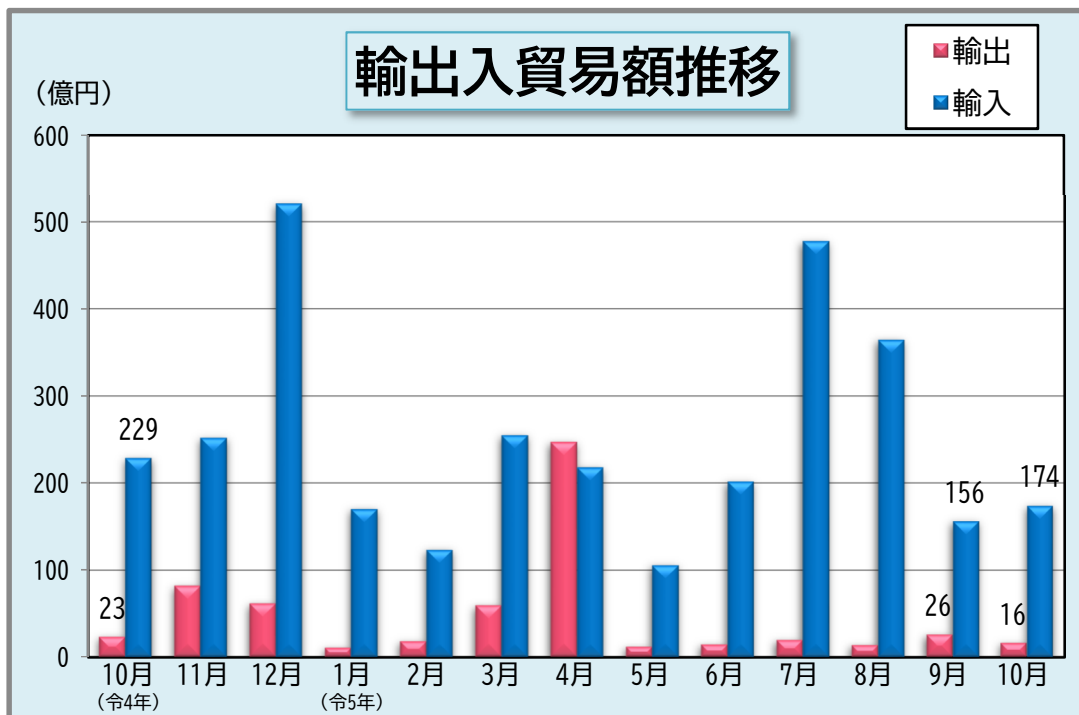
- ・輸出総額は16億2百万円、対前年同月比29.9%減(6カ月連続の減少)
- ・主な減少品目は「再輸出品」(▲59.3%)、「鉄鋼」(▲84.3%)、「パルプ及び古紙」(▲35.2%)
(主な増加品目は「精油・香料及び化粧品類」(4.9倍)、「飲料」(22.3%)、「金属製品」(17.9倍))
- ・国(地域)別構成比は台湾(25.9%)、韓国(16.1%)、香港(13.4%)、アメリカ(10.0%)、シンガポール(7.5%)

●輸入

- ・輸入総額は174億3百万円、対前年同月比23.9%減(2カ月連続の減少)
- ・主な減少品目は「天然ガス及び製造ガス」(▲100.0%)、「輸送用機器」(▲94.4%)、「果実及び野菜」(▲64.1%)
(主な増加品目は「石油製品」(754.4倍)、「一般機械」(3.9倍)、「その他の動植物性原材料」(39.9%))
- ・国(地域)別構成比は中国(28.7%)、オーストラリア(23.1%)、インドネシア(14.8%)、アメリカ(6.8%)、イタリア(4.4%)

●差引

- ・差引額は158億円の入超(前年同月は205億96百万円の入超)



1. 輸出動向

(1) 主要品目別動向

品名（金額・伸率）	構成比	主要国（地域）（金額・伸率）
1 金属鉱及びくず （3億94百万円、▲12.0%）	24.6%	韓国（2億15百万円、▲20.3%） 台湾（1億54百万円、2.1%）
2 一般機械 （3億28百万円、▲8.9%）	20.5%	台湾（55百万円、26.9%） ドイツ（45百万円、全増）
3 再輸出品 （2億33百万円、▲59.3%）	14.5%	香港（74百万円、▲35.2%） アメリカ（69百万円、29.9倍）
4 飲料 （1億41百万円、22.3%）	8.8%	アメリカ（50百万円、84.9%） オーストラリア（22百万円、▲43.0%）
5 パルプ及び古紙 （1億29百万円、▲35.2%）	8.1%	台湾（1億3百万円、18.3%） 韓国（15百万円、37.6%）
<p>増加品目（増加額・伸率） 主な増加国（地域）</p> <p>1 精油・香料及び化粧品類（+40百万円、4.9倍） 香港、台湾</p> <hr/> <p>2 飲料（+26百万円、22.3%） アメリカ</p> <hr/> <p>3 金属製品（+19百万円、17.9倍） 台湾</p> <hr/> <p>減少品目（減少額・伸率） 主な減少国（地域）</p> <p>1 再輸出品（▲3億39百万円、▲59.3%） ドイツ、香港</p> <hr/> <p>2 鉄鋼（▲99百万円、▲84.3%） ミャンマー、台湾</p> <hr/> <p>3 パルプ及び古紙（▲70百万円、▲35.2%） タイ、ベトナム</p> <hr/>		

(2) 主要国（地域）別動向

国（地域）名（金額・伸率）	構成比	主要品目（金額・伸率）
1 台湾 （4億15百万円、14.8%）	25.9%	金属鉱及びくず（1億54百万円、2.1%） パルプ及び古紙（1億3百万円、18.3%）
2 韓国 （2億58百万円、▲22.7%）	16.1%	金属鉱及びくず（2億15百万円、▲20.3%） 加工油脂及びろう（21百万円、▲52.7%）
3 香港 （2億14百万円、▲13.3%）	13.4%	再輸出品（74百万円、▲35.2%） 精油・香料及び化粧品類（32百万円、8.8倍）
4 アメリカ （1億59百万円、46.4%）	10.0%	再輸出品（69百万円、29.9倍） 飲料（50百万円、84.9%）
5 シンガポール （1億20百万円、69.3%）	7.5%	再輸出品（69百万円、115.0倍） 肉類及び同調製品（18百万円、▲44.2%）

2. 輸入動向

(1) 主要品目別動向

品名（金額・伸率）		構成比	主要国（地域）（金額・伸率）
1	石炭 （54億35百万円、3.2%）	31.2%	オーストラリア（38億5百万円、全増） インドネシア（16億30百万円、▲64.3%）
2	石油製品 （36億18百万円、754.4倍）	20.8%	中国（34億59百万円、全増） 韓国（1億58百万円、43.3倍）
3	肉類及び同調製品 （8億51百万円、▲6.5%）	4.9%	ブラジル（2億35百万円、30.4%） アメリカ（1億98百万円、▲32.1%）
4	その他の雑製品 （7億94百万円、▲18.6%）	4.6%	フランス（2億61百万円、▲45.2%） イタリア（1億41百万円、24.3%）
5	一般機械 （7億72百万円、3.9倍）	4.4%	アメリカ（3億40百万円、5.0倍） イタリア（2億67百万円、23.8倍）
増加品目（増加額・伸率）		主な増加国（地域）	
1 石油製品（+36億13百万円、754.4倍）		中国、韓国	
2 一般機械（+5億74百万円、3.9倍）		アメリカ、イタリア	
3 その他の動植物性原材料（+2億7百万円、39.9%）		インドネシア	
減少品目（減少額・伸率）		主な減少国（地域）	
1 天然ガス及び製造ガス（▲84億75百万円、▲100.0%）		オーストラリア	
2 輸送用機器（▲7億18百万円、▲94.4%）		中国、イギリス	
3 果実及び野菜（▲7億3百万円、▲64.1%）		アメリカ、カナダ	

(2) 主要国（地域）別動向

国（地域）名（金額・伸率）	構成比	主要品目（金額・伸率）
1 中国 （49億88百万円、2.8倍）	28.7%	石油製品（34億59百万円、全増） 電気機器（2億9百万円、2.6倍）
2 オーストラリア （40億22百万円、▲53.5%）	23.1%	石炭（38億5百万円、全増） 穀物及び同調製品（65百万円、2.9倍）
3 インドネシア （25億72百万円、▲50.9%）	14.8%	石炭（16億30百万円、▲64.3%） その他の動植物性原材料（6億97百万円、48.0%）
4 アメリカ （11億78百万円、▲53.2%）	6.8%	一般機械（3億40百万円、5.0倍） 肉類及び同調製品（1億98百万円、▲32.1%）
5 イタリア （7億58百万円、34.4%）	4.4%	一般機械（2億67百万円、23.8倍） バッグ類（2億47百万円、▲24.6%）

- ◆本資料における貿易額は、管内各官署が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額です。
- ◆「再輸出品」とは本邦から輸出する外国産貨物をいい、「再輸入品」とは本邦に輸入する内国産貨物をいいます。
- ◆税関ホームページ内「貿易統計」ページでは、下記資料の検索・閲覧が可能です。
《ホームページアドレス <https://www.customs.go.jp/>》
 - 各種貿易統計データの検索（品目・国・税関ごとの貿易額、船舶・航空機統計等）
 - 財務省及び各税関（地域）の貿易統計発表資料、その他の参考資料
- ◆本資料を引用する場合は、沖縄地区税関の資料による旨を注記して下さい。
- ◆不明な点がございましたら、下記連絡先へお問い合わせ下さい。

沖縄地区税関 調査部 調査統計課
沖縄県那覇市港町2-11-1 那覇港湾合同庁舎3階
TEL. 098-862-9650

